

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 算数を中心とした考えを深め合う指導法の工夫・改善
- 基礎基本の徹底と思考力・判断力・表現力の育成
- 家庭との連携による既習の定着と活用力の育成を図る家庭学習の充実

＜本年度の学力向上策＞

- 1 算数を中心とした学力の向上と人権教育の視点を取り入れた指導法の工夫・改善
 - ・昨年度研究した、「和土小算数の授業スタンダード」に継続して取り組み、全クラス統一された授業を行うことができるようにする。
 - ・個に応じた指導を進めるため、全クラスの算数の学習を複数体制で行うことができるようにした。実態に合わせて少人数指導等の指導形態を工夫する。
 - ・算数及び人権教育の指導者を呼び、ブロックごとに研究授業を実施し、両方の側面から指導法の工夫・改善を図る。
 - ・朝学習の時間を調整し、算数の学習を行う時間を増やすことができるようにした。
 - ・全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果を分析、活用し、既習内容の復習や個別指導の工夫を検討する。
 - ・学力向上カウンセリング学校訪問を活用し、授業改善や指導の工夫についてさらに見直しを図る。
 - ・人権教育についての講話を行い、人権教育の視点を取り入れた校内環境を整えていく。

【校内授業研究会3回以上】

【全クラスの算数の学習を複数体制で実施90%以上】

【児童による学校評価「授業はわかりやすく楽しい」80%以上】

- 2 家庭と連携した学習環境の整備
 - ・「和土小家庭学習の目標」リーフレットを全家庭に配布し、家庭学習の継続と充実を図る。
 - ・音読や漢字、計算、短作文、自主学习など、発達段階に応じた宿題を系統づけ、全校で取り組む。
 - ・各学期の「生活カード」の記入と振り返りにより、家庭における望ましい生活習慣を確立する。

【家でまったく勉強をしない児童0%】

＜本年度の振り返り＞